

# ♡親子読書『熊本の心』の感想より♡ (R2, 3学期実施)

## 【低学年】

### 「火たきのしごと」

《児童》わたしは、きはちがおにになる、火を五十九日間たきつづけることを知りました。自分は火がきらいだから、火たきおとめになったあその子どもたちは、火がこわい人でも火たきおとめになれば火がこわくなくなるんだと思いました。おおむかし、あすかぐらいのとき、くびを切ったから、おっぺおにになったきはちのくびをまもって、たべものにこまらないように、火たきしんじがはじまったんだと思いました。

《お家の方》今回も親子で「くまもとのころ」を読ませていただきました。その中でも「火たきのしごと」は、子どもの興味をひきました。小さい頃から火が苦手だったからだと思います。阿蘇の火たき神事の由来が分かり、59日間も幼い女の子が火をたきつづけることを初めて知りました。熊本の各地の文化を知ることができるよい本だと思います。勉強になります。

### 「きゅうけい先生」

《児童》校かをいろいろつくっていらっしゃるのがすごいとおもいます。

《お家の方》誰もが知っていて、すぐにでも口ずさめるような歌を作ったのが人吉の人ということは、市民として誇りに思うことです。そんな人でも生徒一人一人のことをよく見て、困ったときには手を差し伸べる優しさや思いやりをしっかりとっておられたと思うと、自分も日頃から目配り気配りをしていきたいと感じました。

### 「めごいにゃあどんときつね」

《児童》めごいにゃあどんが、あかちゃんきつねをたすけるのがすごいとおもいました。

《お家の方》子どもに「何で魚や塩が前よりも売れるようになった？」と聞くと、「いいことをすると、自分にもいいことがある。」と答えていました。その気持ちを忘れず、優しい気持ちを持ち、行動してほしいと思います。

### 「かっぱのねがい」

《児童》自分のねがいごとがかなって、そしてこれからはどうするか考えるのもたいせつだなと思いました。

《お家の方》人に優しく接することの大切さを知ってほしいと思いました。

## 【中学年】

### 「森の都 熊本」

《児童》熊本には、こんな自然があるんだなあと感じました。

《お家の方》クスの木を植える話、熊本にはそんな歴史があったなんてビックリしました。熊本市内のホテル日航の横にある「オークス通り」が頭に浮かびました。先人達のすばらしい働きに本当に感動しました。県木になるほどの立派なクスの木、大きな株を見に行ってみたいです！ 相良村にあるとか・・・、ないとか・・・。

「ぼくの町のたいこおどり」

《児童》 いやでも町の人たちのために練習するのがいいことだと思いました。

《お家の方》 伝統芸能を受け継ぐ人が近年少なくなり、存続の危機をむかえるものもある中、大人が子どもに伝えていくことの大切さを感じました。郷土を愛する気持ちを子にも伝えていこうと思います。

「森の都 熊本」

《児童》 義男さんは、熊本のために農業の勉強などをがんばって、熊本をよくしようとしているので、ぼくにできることはしたいです。

《お家の方》 みどり、木々、花は人の心と体を元気にしてくれます。義男さんの小さな努力と熊本の人々の心が、今の「森の都 熊本」をつくりあげてきたのだと思います。これからの時代を生きる子どもたちに、義男さんの志を引き継いでもらいたいと思います。

## 【高学年】

「金栗たび」

《児童》 はじめに失敗してケガをしてしまったけど、何でかを考えて立ち直って、自分で考えたくつで走って有名になったことがすごいなあと思いました。

《お家の方》 失敗したことを悔やみ続けるのではなく、その原因を考え、またそれを改善しようとするところに感動しました。過ぎたことを「あ～すれば、こうしていれば・・・」と思わず、自分だけではなく次の人につながるよう考えられるプラスな人に子どもになってもらいたいし、私もなりたいたいと思いました。ポジティブになりたいです。

「国宝『青井阿蘇神社』」

《児童》 ぼくも何ができるかを考え、守るための心がけをしていきたいです。

《お家の方》 人吉にとって、昔から馴染みのある青井神社。あるのが当たり前だった風景が水害によってこわれてしまいました。元の姿に戻るよう、みんなで頑張っていかなければならないと思います。

「国宝『青井阿蘇神社』」

《児童》 青井阿蘇神社が水害でつかって片付けにいきました。おくんち祭りもあるし、七五三とかもあるので、大切にしようと思いました。

《お家の方》 歴史ある「青井阿蘇神社」。毎年楽しみのおくんち祭りも水害やコロナで中止になり、さびしい年でした。みぞぎ橋は今でも水害からそのまま胸が痛みます。いろいろな御祝い事では青井さんにお世話になっています。

「国宝『青井阿蘇神社』」

《児童》 僕は、水害で被害を受けた青井阿蘇神社が早く復旧できるように願っています。なぜなら、家族や友達といろいろな思い出をつくることができた場所だからです。早くなおってほしいです。

《お家の方》 水害で被害を受けてしまった「青井阿蘇神社」の復旧を願う人は、地元民だけでなく、他県の人と同じだと思います。まだ、息子も「おくんち祭り」を体験したことがなく、来年見られたらいいですね。そして、また正月は家族そろって復旧した青井神社へ参拝に行けることを願っています。

## 【ひまわり・たんぽぽ学級】

「わんぱくまつじろう」

《児童》まつじろうは、わんぱくで自まんしたり人にウソをついたりしたけど、はんせいして正しい行いをしてがんばってどりよくしたから、いい学しゃになれたんだなあと思いました。  
《お家の方》お父さんがまつじろうのことを信じて、どうしたら立派になるか考え、勉強すること、苦勞すること等を学ばせたことと、本人が今までの行いに気付き反省し学問がしたいという意欲をもって努力することが大事だと思いました。

「おかあさんのプレゼント」

《児童》ひとをよろこばせ、おいしいごはんをいっぱいたべさせるいいひとですね。  
《お家の方》芦北にそんなすごい人がいたのを初めて知りました。芦北に伽哩街道というイベントがあるのですが、江上トミさんの話から始められたそうです。前から何でカレーなんだろうと思っていたのですが、理由が分かりました。

「雲に乗りたい」

《児童》ぼくもゆめをもってみたいです。  
《お家の方》今回のお話では、夢を持ち続けることと、常に何をしたいのか、何をすればいいのかと探究心をもって取り組むことの大切さを再確認することができました。子どもと一緒に読めてよかったです。

「元気な子」

《児童》その子はとても元気なのですが、勉強があんまりできないのでちょっとまずいです。でも勉強もできるようになってよかったです。  
《お家の方》さいしょはだれでも分からないことばかりですが、勉強してかしこくなっていきますね。